

# NPOとよはしCAP 通信9号

あなたは大切なひとです 生まれてきてくれてありがとう



**CAP(キャップ)とは…Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)の略**

子どもたちがいじめ、誘拐、痴漢、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分の心とからだを守るための教育プログラムです。ロールプレイや話し合いを交えたワークショップ(参加体験型学習)を通して、誰でもが生まれながらに持っている大切な3つの権利・『安心』『自信』『自由』があり、もし暴力にあってその3つの権利が侵害されそうになったら何ができるかを子どもや教職者、保護者、地域のおとなに伝え、共に考えていきます。CAPプログラムは、1978年に、子どもへの暴力防止を予防教育によって進めようと、生みだされ、活用され、信頼されてきた教育プログラムで、現在世界11カ国で実践されています。

後援：豊橋市教育委員会



# CAP就学前プログラム始動

NPOとよはしCAPでは、今年度から就学前の子どもたちを対象とする「CAP就学前プログラム」にも積極的に取り組んで行こうと思っています。就学前プログラムは20分のワークショップとトークタームを3日間行います。子どもたちの発達段階を考慮し、怖がらせず、楽しく学べるよう、細かな配慮や注意をしながら行います。

CAPプログラムと出会ったことをきっかけに、小さな子どもたちが「あんしん・じしん・じゆう」の権利を「こころの力」として、その後の人生で大切に育んでいってくれることを願い、活動していきます♪

## 中島先生から メッセージ♪

明照保育園 園長  
中島章裕先生



近年、やっと子育てを社会で支える考えが広まりつつありますが、まだまだ不十分であることは否めません。アフリカには、「一人の子どもを育てるためには、村中の人が必要である」という古い諺があり、フィンランドを始めとした北欧諸国でも「子育ては村を挙げての一大事業である」という言葉があるように、本来、人間は、家族を中心としつつ、社会全体で子育てをしていました。困ったことがあれば皆で知恵を出し合い、嬉しいことがあれば皆で喜び合い、一緒になって笑い、一緒になって悩みながら子育てをしてきました。しかし、残念ながら核家族化や少子化が進む中で、人間本来の子育てが難しくなってきました。

一方、虐待が社会問題化し、母親や家庭に子育ての責任を押しつける論調も目立ちます。しかし、虐待をしたくて子どもを育てる親はいません。一生懸命に子育てをしようとしても支援や援助がないために孤立してしまったり、ストレスを溜めている親もいます。始めから完璧な親はいません。そんなお母さんたちの話を頷きながら聞いたり、寄り添うことで、お母さん自身が笑顔を取り戻すことも多いものです。私たち保育園には、そんなお手伝いも出来ると思います。

CAPは、子どもたち自身が人権意識をしっかり持ち、暴力から自分を守るための知識や技能(スキル)を持つことを願って普及活動をしていると思います。これからも子どもたちのためのご活躍を願っています。

子どもたちにCAPのメッセージが根付くには、日々接するまわりのおとなが共通理解を持ち、子どもの人権を尊重し、子どもの問題解決能力を引き出すような関わりをしていってもらうことが大切です。今年度は生命保険協会の「子育て家庭支援団体に対する助成」を得ることができ、これを活用しおとな向けワークショップを開催します。

1月 豊橋旭幼稚園での保護者ワークショップを実施 (16名の保護者の参加がありました)

7月 豊橋保育協会研修(市内保育園の園長・主任保育士・保育士の方を対象)でCAP講座「大丈夫、よく育っているね～子育て支援から子育て支援へ～」を開催します。

